

3 我が家の安全対策

地震に備え、家では日ごろからどのように安全対策をとっておけばよいのでしょうか。

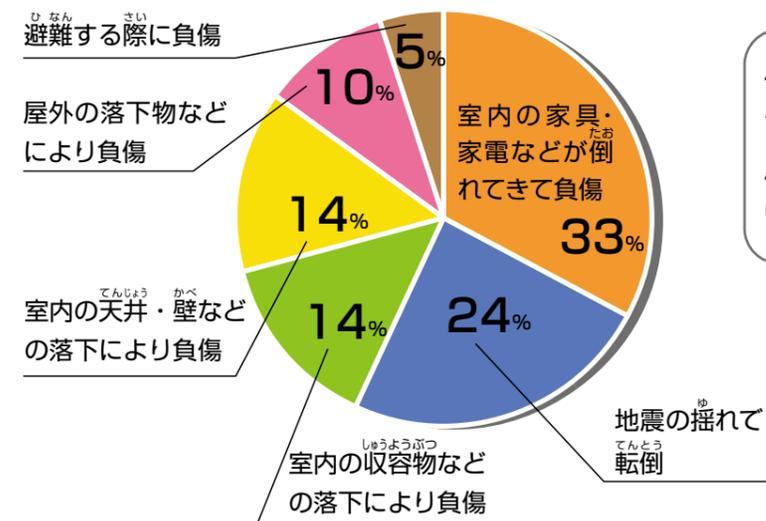
考えてみよう

家の中の安全対策には、どのようなものがあるか、下の絵を見て探してみましょう。



自分の家はどうか？ ちゃんとできているかな？

東日本大震災時の地震による負傷の原因（津波によるものの負傷は除く）



倒れてくるものや落ちてくるものでのけが多いね。広い場所に避難して、けがをしないように気をつけよう。



参考：仙台市消防局「仙台市救急業務基礎問題検討会報告書」（平成 25 年 3 月）

知って おこう

「もしも」のための応急手当の方法を知っておこう

出血があるとき



出血している傷口をガーゼやハンカチなどで強くおさえる。

やけどをしたとき



すぐに流水で痛みがとれるまで何回も冷やす。皮ふを傷つけるので、衣服はぬがなくてその上から冷やす。

骨折したとき



痛いところを動かさないようにそえ木を使って固定する。足を少し高い位置に置いて冷やす。

そえ木の代わりに新聞紙やダンボールを使ってもいいよ。



けがなどをしている人を見かけたら、すぐ周りの大人に助けを求めましょう。